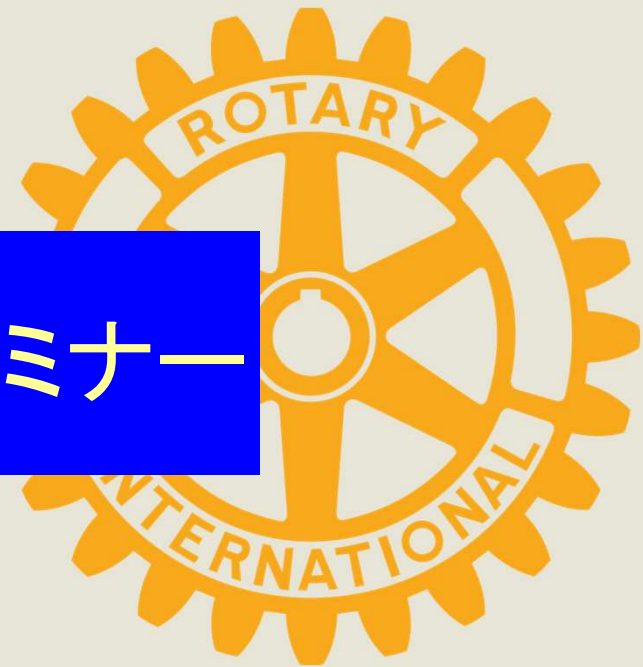


ロータリー財団補助金管理セミナー



資金の使われ方

2020-21年度地区ロータリー財団
補助金委員会
委員長 鈴木 正紀(川崎鷺沼RC)



シェア・システムと資金の分配

(例) 資金 \$40万の

第2590地区R財団活動原資

(年次基金+恒久基金)

\$20万 (年次基金の50%)

地区財団活動資金

(DDF) 予算は\$20万

地区補助金

(DG)

予算は\$10万(50%)

グローバル補助金

(GG)

予算は\$10万

(DDF50%の\$10万と
WFからの\$10万の計)

2019-20年度、2020-21年度
の地区補助金は60%
グローバル補助金は40%
となっています。

\$20万(年次基金の50%)

国際財団活動資金

(WF)

\$10万

シェアシステム(3年後の分配)

P10

ロータリー財団の資金(寄付)はいつ分配されるのですか？

上記「シェア・システムって何ですか？」で記載した通り、ロータリー財団に集められた皆様からの寄付は**3年間投資**されたあと分配されます。その資金はそれぞれのプログラムに使用されていきます。同時にこの3年間で各地区及びクラブは実施したいプログラムの調査・計画・実行の為に時間を費やしていきます。

年度(積立)	ガバナー名		年度(実行)	ガバナー名
2016-17年度	高良 明	→	2019-20年度	轟 淳次
2017-18年度	湯川 孝則	→	2020-21年度	吉田 隆男
2018-19年度	金子 大	→	2021-22年度	小倉 正Gエレクト

2018-19年度ロータリー財団の支出内訳(全体)

事業内容	拠出金額(ドル)	構成比率
ポリオプラス	151,000,000	45.0%
グローバル補助金	87,000,000	25.9%
地区補助金	26,000,000	7.7%
ロータリー平和センター	5,000,000	1.4%
その他の補助金	12,000,000	3.5%
プログラム運営費	20,000,000	5.9%
寄付推進費	19,000,000	5.6%
一般管理・運営費	15,000,000	4.5%
合計	335,000,000	100%

プログラム補助金 84.0 %
 プログラム補助金と運営費 90.0 %
 一般管理費 4.5 %



予算配分の実例

(2020-21年度地区補助金の場合)

DG	申請限度額	ドル(\$)	円レート(¥)	支給金額
		127,400	107	13,631,806円
プロジェクト名称	詳細内容	ドル(\$)	円レート(¥)	支給金額
クラブ奉仕	21クラブ	46,400	107	4,964,800円
① 地区奨学生	田中 麻琴(イギリス)	27,000	107	2,889,000円
② 地区奨学生	新倉 梨加(アメリカ)	27,000	107	2,889,000円
新型コロナ感染	医療機関・クラブへフェイスシールド配布	25,000	107	2,675,000円
計		125,400		13,417,800円
差額計	管理費(振込など)	2,000	107	214,000円

ロータリー財団の資金(寄付)は、プログラムにどれくらい使われているのですか？

2017-18年度は、皆様から集められた寄付金の約92%が慈善事業のプログラムとして使用されております。ロータリー財団の一般管理運営費は1.52%でその割合は他の財団と比較しても特筆すべきものであり、チャリティーナビゲーター(奉仕団体の格付け団体)からも11年連続で4つ星の最高評価を頂いております。

2018-19年度 慈善事業90% 一般管理費4.5%



慈善団体の格付けを行う機関チャリティーナビゲーターはロータリー財団に、12回目となる4つ星の最高評価をつけました。何千もの慈善団体のわずか1%です。

ロータリー財団の財務の健全性、説明責任と透明性に対する徹底した姿勢が評価されています。



ご清聴ありがとうございました

第2590地区ロータリー財団
補助金委員会
委員長 鈴木 正紀